

# 研修医ごあいさつ



みどり病院初期研修医1年  
國島 拓也 医師

はじめまして、初期研修医1年目の國島拓也と申します。本年6月からみどり病院にて初期研修をさせて頂いております。子供の頃にみたDr.コトーの影響

はじめまして、初期研修医1年目の國島拓也と申します。本年6月からみどり病院にて初期研修をさせて頂いております。子供の頃にみたDr.コトーの影響

はじめまして、初期研修医1年目の國島拓也と申します。本年6月からみどり病院にて初期研修をさせて頂いております。子供の頃にみたDr.コトーの影響

はじめまして、初期研修医1年目の國島拓也と申します。本年6月からみどり病院にて初期研修をさせて頂いております。子供の頃にみたDr.コトーの影響

はじめまして、初期研修医1年目の國島拓也と申します。本年6月からみどり病院にて初期研修をさせて頂いております。子供の頃にみたDr.コトーの影響

# 「小児科の紹介」



小児科医  
日野 明日香 医師

みどり病院小児科は、長い間松井院長が一人で担ってききましたが、7年前に私が外部研修から帰還して以来、院長と私の常勤2名で診療しています。といても、その後、私が産休育休を3回とって、その間を院長にお任せしてきました。現在も育休からの復帰を徐々にしている最中で、一般診療は松井院長、週1回のアレルギー予約外来と日帰り入院検査を私が担当しています。不在の度に皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、自分自身の出産や子育てを通じて学ぶところも大き

く、今後の診療にぜひ役立てていきたいと思います。さて、小児科一般診療には感染症を中心とした様々な疾患の子どもさんがやってきましたが、当院は外来診療が中心で、入院や専門医への受診が必要な疾患については、県総合や長良医療センター、中濃厚生病院など周囲の小児科と連携をとりながら診療にあたっています。また、院長もアレルギー専門医を取得しており、食物アレルギーやアトピー性皮膚炎、喘息などを得意分野としています。特に食物アレルギーに関しては、日帰り入院での経口負荷試験や除去解除のための食事指導、アナフィラキシーを起こす可能性のある患者様に処方するアドレナリン自己注射キット『エピペン®』の処方管理などを

行っています。火曜午後には予約制のアレルギー外来もあります。その他に、岐阜市からの委託事業として一歳半健診と五歳児健診、各種の定期接種ワクチンなども行っています。ワクチン接種は予約制で、一般診療時間でも受診する方との接触を避けるため、月曜午後専用枠を作っています。診察スペースが限られており、感染症隔離室が狭い、授乳専用室がないなどの難点もありますが、スタッフ一同よりよくご利用いただけるよう努力しておりますので、困りの時はお声掛けください。子育て経験のあるメンバーがそろっていますので、病気に限らず、子育ての悩みなどもお気軽にご相談ください。

## 知って得する 年金生活者支援給付金制度が始まります

どんな制度？  
2019年10月の消費税増税にともなって、新たに「年金生活者支援給付金制度」が始まります。これは年金を含めても所得が低い方の生活を支援するために、年金に上乘せして支給されるものです。

いつから始まる？  
消費税が10%に引き上げられる2019年10月1日から施行となります。支払いは(10月分11月分)が2019年12月中旬です。

対象者は？  
①老齢基礎年金を受けている  
②障害基礎年金を受けている  
③遺族年金を受けている  
①～③でそれぞれの条件に当てはまる方

もらえる金額は？(月額)  
老齢基礎年金 2500～7900円  
障害年金 1級 6250円 2級 5000円 遺族年金 5000円

手続きは？  
対象の方には2019年9月頃に日本年金機構から書類が送られてきます。手続きは初回の一回のみですが、書類を提出しないともらえません。申請が遅れると遡って給付はされませんので、書類が届いたらすぐに手続きをしましょう。(2019年4月2日以降に年金が開始になる方は年金の手続きの時に給付金の手続きを案内されています。)(みどり病院医療相談員)



## 第34回 みどり健康まつり

- ◎日 時：10月20日(日) 10:00～14:00(予定)
- ◎場 所：みどり病院
- ◎参加協力券：300円(福引・景品付き)

## 一人暮らしの認知症①

介護事業部  
介護事業部長  
岩原 田鶴子

その、高齢の認知症のご婦人は女学校をでていました。私の私生活にも口を出してきます。子供に習い事をさせている話をしたら、「子供に好きでもないことを強要するのはよくないよ。やめさせた方がいいよ。子供はのびのび育てないと」と言いました。心の中で「習い事をきちんと続けるのは、とても大事な事」と反論します。まるで、自

分の娘のように接してくる、このご婦人のことを本当に大切な人だと実感しました。そうして、援助期間が10年近くなると、いよいよ限界になってきます。認知症の進行により、家にコソ泥があるので怖いと言って、近所の家に逃げ、警察を呼ぶと言った。それが起こってしまいました。どれだけ、自分の家に連れて帰りたいと思っ

た事か！  
子供はいなかったの  
で、実の弟さんが後見人になってくれました。当時の施設は直ぐに入れないほど状況がひどかった  
ので、その準備期間とし



ての対応が求められる、ショートステイなど泊りのサービスを利用しました。ところが、そこで転倒し、救急病院に搬送されたのです。弟さんに連絡をしても、取れません。なんと、同日に脳梗塞を起しそのまま、帰らぬ人となってしまいました。私は、救急病院へ行くまで付き添うようにと言われ、びっくりしました。すでに、夜の7時です。泊まるの？という不安が出てきます。子供たちの面倒はどうするの？幸いなことに、ショートステイの施設長が休日にもかかわらず外出先から来て